



2024 年度
第 26 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
ソンサッカーアカデミー
児童虐待事件
嚴重な捜査と再
発防止が必要だ



2
ソン・フンミンの
作り方？



3
スポーツ界も
「町全体」が
必要だ



4
今年下半期に施行する
4つの
「体育人福祉支援金」
とは？



5
全国初の
学生運動部の
人権侵害点検…
保護されてるみたいです



緊急討論会

ソンサッカーアカデミースポーツ暴力事件を通じて振り返った 児童・青少年スポーツ人権の今

日時：2024.7.4（木）午後 2 次

場所：スペースエム（弘大入口駅）

中継：文化連帯ユーチューブチャンネル youtube.com/@culturalaction

司会：ハム・ウンジュ スポーツ人権研究所事務総長

発題：ソンサッカーアカデミースポーツ暴力事件の本質は何か

ジョン・ヒジュン 文化連帯代案体育会執行委員

討論：金ヒョンス 体育市民連帯執行委員長、金ジョンウ 民弁文化芸術スポーツ委員会スポーツ人権チーム、言論人、体育教師など

主催：文化連帯代案体育会、スポーツ人権研究所、体育市民連帯

01 共同声明 2024. 7. 1

ソンサッカーアカデミー児童虐待事件、嚴重な捜査と再発防止が必要だ



最近、ソンサッカーアカデミーの指導者が児童虐待の疑いで検察の調査を受けていることが分かった。マスコミによると、今年 3 月の訓練中、ソンサッカーアカデミー所属のコーチは、児童たちにうつぶせの状態プラスチックのコーナーフラッグで太ももを殴り、他にも数回にわたって暴力と暴言があったと被害者たちは供述している。これまでスポーツ界の暴力終息に対して社会的合意がなされ、人権保護のための色々な制度的装置が作られたが、このような事件が再び起きたという事実に惨憺たる気持ちを禁じえない。

サッカーアカデミーの指導者たちは釈明文を通じてコーチと選手の間で先着順で走るのに遅れたら一発殴られることに合意したと主張する一方、「子供たちに対する愛が前提にならない言動と行動は決してなかった」と話した。これはこれまで繰り返されたスポーツ界の人権侵害事件での加害者の言い訳と大きく変わらない。むしろ彼らの人権感受性が非常に不足していることを証明するだけだ。

成功した選手になるために黙々と練習する児童たちと、彼らの首輪を握っている指導者は決して同等の地位にない。どうして彼らが体罰をめぐって同等な立場で賭けや合意ができるだろうか？ より一層怒りを感じる点は、この事件だけでなく多くのスポーツ暴力で指導者が「愛」と「訓育」を口実に暴力を行使するという点だ。訓練過程で培ってきた親密さのため、多くのスポーツ暴力被害者は暴力を暴力と認識できないまま暴力に露出したりする。他の私設サッカーアカデミーで似たような児童虐待がないとは限らな

い。「孫フンミン神話」に隠れて、選手として成功するために多くの児童青少年と保護者がスポーツ暴力を黙々と我慢しているかもしれない。

国連児童権利協約によれば、子供ならば誰もがすべての形態の虐待と放任、差別、暴力などから保護される権利を持つ。すべての子供には安全な環境で人権を保護され、サッカーを楽しむ権利がある。サッカー選手として成功するためという理由で、児童たちが大小の暴力に耐えなければならない文化とシステムは、この機会に必ず変わらなければならない。

そのために我々は次のように要求する。

- 一. ソンサッカーアカデミーは、被害児童の保護と支援のための対策を講じろ！
- 一. 関係当局はサッカーアカデミー児童虐待事件に対して厳重に捜査せよ！
- 一. 大韓サッカー協会およびスポーツ倫理センターは、私設サッカーアカデミー内のスポーツ暴力に対して厳正な調査を実施せよ！

2024. 7. 1

文化連帯代案体育会、民弁（民主社会のための弁護士会の会）文化芸術スポーツ委員会、
スポーツ人権研究所、体育市民連帯

02 ニュースミン ソン・フンミンの作り方？ 2024. 6. 30

金賢洙（キム・ヒョンス）体育市民連帯執行委員長



すべてのユーススポーツ選手は選手である前に子供だ。国連の児童権利協約では児童に対するすべての形態の暴力と虐待をなくし、児童権利に否定的な影響を及ぼしうるすべての問題を解決しなければならないと明示している。ユニセフが作った「児童の権利を守るスポーツ原則」でも「必ず勝つ」というスポーツ精神が児童に役に立たず、むしろ児童のスポーツ活動の妨害になりうるという点を強調する。子供にとって、スポーツは勝利だけを追求する盲目的であってはならず、より良い人生のための大切な経験にならなければならない。最近、幼少年サッカーアカデミーで起きた暴力と暴言による児童虐待事件は、ソン・フンミン選手の父親、兄の問題ではなく、勝利至上主義に埋没した既成世代の欲望が産んだ悲劇と見られる。最近の児童は既成世代が代わりに見てくれる「夢と希望」という誤った欲望に閉じ込められてスポーツを職業的手段だけとして学び、苛酷な訓練と犠牲がスポーツの本質に歪曲されたままスポーツに出会っている。成功のためにはすべてに耐えなければならないというスポーツ界の誤った認識が、今回の事件でも如実に表れたのだ。加害者が「時代の変化と法で定める基準」を認知できなかったという不適切な弁解を通じて問題はさらに目立つ。児童虐待は彼が言った「時代」以前にもすでに国際的に当為性のない言動に過ぎなかったためだ。また、スポーツをする児童は他の児童とは違って殴打と暴言がありうるという錯覚も問題だ。さらに、指導者と親が互いに合意さえすれば、このすべてが容認されるという発想も問題だ。児童は両親の所有物ではなく、自らが権利を持った主体であり、自身の未来のための意見を語るができる人格体だ。「愛が前提となった言動」はスポーツから自発性を引き出す動機付けと発展に対する激励に関するものでなければならない、決して暴力に関するものであってはならない。そのような点で「愛のムチ」というのは加害者の錯覚に過ぎず、被害者の記憶には傷になるだけだ。

立派な選手を育て上げた自分の経験に照らして、また別の選手を育成するという使命感と抱負は、ソン・ウジョン監督を輝かせ、褒められて当然だ。期待するところも大きい。しかし、その経験が酷使と暴力に関するものだとすれば、直ちに中断されなければならない。

一方、今回の事件が起きた学校外スポーツアカデミーはすでに何度も管理の死角として指摘された経緯がある。2011年IOC執行委員会の承認を受けた「選手アントラージュ倫理綱領(Guidelines Conduct of the Athlete Entourage)」でも、スポーツ領域が拡大・商業化されるにつれ増加する違法行為によって児童の危険性が大きくなることを警告し、児童のスポーツ活動に関連したアントラージュ、すなわち選手と関連したすべての人を対象にこのような危険性を教育するよう明示している。

国家人権委員会も既に「児童福祉法」の児童虐待行為などが確認された場合、課外教習の中止命令などの措置を施行するために「学院の設立、運営及び課外教習に関する法律」の改正を勧告している。学校の運動部が学校の外に出始めて生じた体育教習行為に対する管理の死角をなくすために、法上「課外教習」に体育教習行為を含めるようにということだ。だが、教育部はこの勧告を受け入れなかった経緯がある。

そのような点で、今回の事件を契機に責任を痛感し、改善を急がなければならない。

暴力を伴う訓練は、幼少年選手のバランスの取れた成長を妨げることに過ぎない。身体的機能向上のために暴力を使う方式は、動物を飼い慣らす方式に他ならない野蛮の結果だ。自ら尊厳なスポーツ人になることを改めて促す。

出典：<https://www.newsmin.co.kr/news/105140/>

03 ソウル新聞 2024. 07. 01

スポーツ界も「町全体」が必要だ



小学校の同じクラスにアーチェリーをする友達がいた。体罰する父親が怖くて練習に励んだが、成績は良くなく、学校にも適応できなかった彼は、いじめられて転校してしまった。高校の同じクラスにはバスケットボール部の友達がいた。「ファンクラブ」という先輩たちのいじめの中で喧嘩に巻き込まれ、飲酒に陥ったがバスケットボール部が解体され行き場もなくさまよって「問題児」になった。

スポーツ取材を引き受けた後、体育界の大小の事件事故に多く接するようになった。特に選手たちのセクハラと飲酒運転、暴力、薬物、賭博など逸脱がよく目につくのは「公認」という選手たちの行動が一般人よりさらに注目されるほかはないためだろう。今年に入っても野球、サッカー選手たちの飲酒運転と麻薬、不倫、家庭内暴力などが浮き彫りになり、ファンを大きく失望させた。事件が起きれば選手は「反省する」だけを繰り返し、球団と団体は出場停止と契約解除、放出などを繰り返す。しかし、これといった対策は見られない。

先日会ったスポーツマニアの知人は、もう野球ファンではないと線を引いた。永遠に野球を愛するようだった彼は「性暴力などが乱舞する野球界の観客席を離れた」として「人権が無視されるのに何の希望があるのか」と一喝した。今年、観衆500万人を超え、1000万人もいると喜ぶ野球界が肝に銘じるべきことだ。

最近、国家代表出身のフィギュア選手2人が、海外転地訓練中に宿舎で酒を飲んで未成年者の異性後輩選手を呼んでセクハラした後、同意なしに性的不快感を与える写真を撮った疑いで3年と1年の資格停止懲戒を受けた。大韓スケート競技連盟はまた、懲戒選手らをスポーツ倫理センターに届け出た。懲戒を受けた選手の一人は後輩選手と「恋人関係」と主張し、大韓体育会スポーツ公正委員会に再審を請求した状態だ。反面、被害者側は「当時、非常に当惑し驚いてすぐに部屋から出てきた」と明らかにした。小学生の「羨望職業1位」というスポーツ人の高い道徳性と自己管理、責任ある態度はいくら強調しても過言ではない。崩れた信頼を回復し、未来の希望を吹き込まなければならない主体は選手たちだ。しかし、彼らの逸脱と不正は、ただ彼らだけの問題なのか。筆者が小学校と高校の時に会った友人たちのように学校での問題はなかっただろうか。家庭や学校、団体、選手村などで家族や教師、友人、監督、同僚などとの関係はどうか、今はどうか。主に10代の時から競争に追い込まれ、成果に重点を置かなければならぬ彼らは、どこで誰からどんな教育を受けたのか。誰がどのように彼らにまともな人格と人格、人権、両性平等教育を教えるのか。

スケート連盟は最近の事態直後、保護者懇談会を開いて意見を聴取し、選手教育プログラムを全面的に見直すと明らかにしたが、それだけで問題が解決されるか疑問だ。また「故チェ・スクヒョン事件」後、暴行などの再発防止と懲戒強化のために2020年8月に政府傘下の独立法人として作られたスポーツ倫理センターだけに任せることでもないだろう。

今月26日から来月11日まで2024年パリオリンピックが開かれる。サッカーなど球技種目の五輪進出が不発に終わり、歴代最小選手団参加など憂鬱なニュースも聞こえる。もちろんメダルも重要だが、汗を流しながら準備しただけに、正々堂々と戦い、皆が大変な時期に国民に感動と希望を与えることができることを願う気持ちだ。

ところが、この渦中にスポーツ政策を総括する文化体育観光部と大韓体育会間の予算・組織などを巡る葛藤の溝が深まっている。縄張り争いや任期延長など私的利益ではなく、スポーツ界の人権および不正問題解決、信頼回復のために文体部と体育会がしなければならないことは何か。どのような教育が必要で、どのような対策を推進すべきなのか、知恵を集めなければならない。

スポーツ取材を長くしてきた後輩記者に解決策を聞いたところ、答えはこうだった。「子どもを一人育てるのに町全体が必要だという言葉（アフリカのことわざ）のように、スポーツ界も本当にそうです」

出典：https://www.seoul.co.kr/news/editOpinion/column/journalist-viewpoint/2024/07/01/20240701031004?wlog_tag3=naver

04 ロケットニュース 2024.07.01

今年下半期に施行する4つの「体育人福祉支援金」とは？



文化体育観光部と国民体育振興公団などが今年下半期に4つの体育人福祉支援事業を施行する。

1日、大韓体育会などによると、文化体育観光部と国民体育振興公団は今年下半期に▲競技力成果褒賞金▲国外留学教育支援金▲国内大学院教育支援金

▲体育奨学金など4つの体育人福祉支援事業を行う。

「競技力成果褒賞金」は随時申請を受けて対象者を選定する。大会入賞を通じて獲得した褒賞金の点数が20点以上の国家代表選手に点数別の褒賞金を支給する。また、大会入賞を通じて獲得した褒賞金の点数が10点以上の国家代表選手を直接指導した監督、コーチなど指導者にも点数別の褒賞金を支給する。

「国外留学教育支援金」は今月と来月に申請公告をする。来月、対象者選定作業を経て9月に支援金を支給する。国家代表歴のある選手、指導者のうち海外留学を希望する人（語学試験および基準表による外国語点数保有者）が支援対象だ。

対象者に選定されれば、入学金、授業料、滞在費、航空料などを支援する。支援期間は大学課程の場合2～4年、大学院課程は2年、短期教育および研究課程は1年以内だ。

「国内大学院教育支援金」は国家代表履歴がある選手、指導者の中で国内大学院進学を希望する人が支援対象だ。正規授業年限4学期の間、学期当たり300万ウォン以内の授業料を実費支援する。来月の申請公告後、9月に対象者選定および支給手続きが行われる。

「体育奨学金」は体育会または中央競技団体が主管する全国規模大会で3位以上で上位入賞した学生選手が支援対象だ。障害体育人は小・中・高校生だけでなく専門学士、学士なども支援対象に含む。10月の申請公告後、12月に対象者選定および支援費用支給を施行する。

大韓体育会教育福祉部関係者は「体育人福祉支援は文体部と国民体育振興公団が事業主体だ。大韓体育会はこの事業を種目団体に広報した後、対象者を推薦され候補者を選定し国民体育振興公団に提出すれば公団で支援対象者を最終選定することになる」と事業進行手続きについて追加・説明した。

出典：

https://www.nocutnews.co.kr/news/6170130?utm_source=naver&utm_medium=article&utm_campaign=20240701042809

05 KBS 2024. 07. 01

全国初の学生運動部の人権侵害点検・・・「保護されてるみたいです」



アンカー

文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターの倫理保護官たちが済州を訪れました。

運動部がある高等学校を点検して人権侵害を予防し、済州道教育庁と政策も用意するためですが、全国初の事例です。

カン・インヒ記者です。

レポート

倫理保護官が道内の高校を訪れました。

体育館を見て回り、運動部のシャワー室まで細かくチェックします。

運動部の学生たちと嬉しく挨拶を交わして、

[[『私たちは経験や話を聞きに来ました。』]]

現場で相談する選手たちを決めた後、

「まず私が先にやってみたい！ お！いいですね。」

分離された空間で率直な対話を交わします。

[「野球をしながら一番幸せだった時間はありますか？（野球をすること自体が幸せです。）”]

済州を訪れた倫理保護官は 10 人。

3 日にわたって高校の運動選手と指導者の相談、人権侵害の対応法の案内、施設の点検などを行いました。

全国拡大を前に地域の教育庁とともに推進するのは今回が初めてです。

[イ・ジェホン/スポーツ倫理センター政策室長：「(学生たちの)苦情があるだろうし、その次に訓練場や合宿所に関して施設に対する不十分な点、あるいは改善すべき点を私たちが重点的に(見えています。）」]

済州で運動部がある高校は 17 校 31 チームで、選手と指導者だけで 500 人余り。

学生たちの反応も肯定的です。

[チョ・ジノ/重量挙げ選手/ナムニョン高 3 年生：「選手たちの要求事項も聞いてくれるから、何か保護されているという感じもするし、大丈夫だと思います」]

今回の活動は 8 月にもう一度行われ、結果を分析して両機関が共に対処策も用意する計画です。

[キム・ウサン/済州道教育庁体育健康課奨学士：『この機会に学校の運動部文化が少し改善され、他の市道で模範事例になるようなシステムを構築しようと努力中です。』]

昨年のスポーツ人権不正実態調査の結果、学生選手の場合、言語と身体、性暴力被害を受ける時、半分ほどが「無対応」だと答えました。

済州で始まった今回の活動が元気に体育人の夢を育てることができる呼び水になるか注目されます。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=8000169&ref=A>

06 週間スポーツニュース

パワハラ問題で金ミョンジン大田サッカー協会長、スポーツ倫理センターに通報

https://www.cctoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=2197518#google_vignette

順天市、海上に図書館・体育館が建設

https://www.nocutnews.co.kr/news/6170310?utm_source=naver&utm_medium=article&utm_campaign=20240701055410

申チヨン代表の剣を抜いたのか…韓国体育産業開発、懲戒処分を受けた人事

<https://www.kukinews.com/newsView/kuk202407010169>

光明市、光明市民体育館子供水遊び場 9 日オープン

<https://news.tf.co.kr/read/national/2111622.htm>

サッカー指導者協会の格付「鄭モンギョ会長、首長の資格はあるのか？」

<https://www.nocutnews.co.kr/news/6170388>

米傷病兵体育大会にの韓国選手団も出場

<https://www.asiatoday.co.kr/view.php?key=20240702010000823>

2024年江原特別自治道ろうあ者生活体育オウリム大会開催

<https://www.kwnews.co.kr/page/view/2024070114135656827>

全国体育大会・障害者体育大会「青年記者団」を選ぶ

<https://news.lghellovision.net/news/articleView.html?idxno=472455>

京畿北部地域の「体育行政拠点」が明日オープン

<http://www.kyeongin.com/main/view.php?key=20240702010000064>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jp.org/sportscm/index.html>